

馬淵川上流国有林の森林計画に関する住民懇談会を開催しました

令和6年4月を始期とする「第六次馬淵川上流森林計画区における地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画」策定のための住民懇談会を令和5年1月26日（木）八幡平市安代総合支所で開催しました。

出席者は、地域住民の方6名及び森林計画検討委員、国有林モニター、森林ボランティア、岩手県、八幡平市、二戸市、葛巻町、一戸町の林務担当職員の計14名でした。

開会にあたり主催者である岩手北部森林管理署東海林署長より「住民参加の森林づくりを進める一環として、国有林の森林計画に関する説明を行い、地域の皆様からのご意見・ご要望を伺い、次期森林計画策定の参考とし、反映できるものについては計画に組み入れていく」旨の挨拶の後、議事を進めました。

意見交換における主な発言は「広葉樹の有効活用」「造林事業における低コスト化」「災害を未然に防止する治山施設の推進」「生物多様性の確保」「木質バイオマス発電用資材確保の懸念」「病害獣対策のあり方」「国有林からの情報発信の推進」等様々な要請が出されました。

質問・意見に関して、香月計画保全部長及び東海林署長より回答を行い、一部の質疑については、整理後あらためて返答する事で終了しました。

閉会にあたり香月計画保全部長より「地域の思いが込められた貴重な意見を伺うことができた。これらのご意見を次期森林計画に反映させていきたい」との挨拶をもって閉会しました。

今回出された意見・要望を踏まえ、次期森林計画策定に向け作業を進めていきます。



森林計画検討委員の皆さん



質問する一般参加者



質問に回答する東海林署長